
編集後記

- (1) 本巻の編集を通して、2編のすばらしい原著を紹介します。

第1編は、糸魚川病院透析室田切看護師原著の「血液透析中の緊急離脱時の安全な固定方法の有効性に関するアンケート調査による検討」です。この論文の長所は、論文の意義と研究手段です。作業手順の改善の論文は多いのですが、それに加えて、実装を想定しての避難訓練の実施の前後のアンケートを通してその有効性に言及する手法は見事です。有効性が明確にされたことにより、きつと、作成されたマニュアルと警告用紙は公開ホームページからダウンロードされて全国的に使用されると思います。

第2編は、新潟医療センター栄養科霜田管理栄養士原著の「当院における産科食とお祝い膳に関する褥婦に対するアンケート調査」です。この論文の長所は、問題提起とその解決提案です。産科は自由診療で医療経営において重要な為、しばしば管理者側からの費用の抑制が強調されます。昨今の産科診療所におけるアメニティ優先は度を越していますが、公的病院においても正常分娩に対するアメニティ対応は無視できない問題となりました。編者も20年来妊婦の食事改善を提案しましたが改善されなかった経験があり、組織内の専門家からの研究報告に素直に傾聴していただくことが正しい意味での業務改善提案と信じ、管理者を含めた組織全体での一読を推薦しました。この論文も公開ホームページからダウンロードされ検討・改善されることを望みます。

- (2) 編集者から見た原著における「アンケート調査」に関しての苦言：

アンケート解析は良い手法です。が、「とりあえずアンケートをやってみてから考えてみよう」は誤りです。

論文を編集しながら2点残念なことがあります。アンケート前の準備とその解析方法です。

料理でも手術でも事前の準備が全てであり、このことはアンケート調査においても同様です。目的と仮説を立てて、しっかりとした設計をすることが重要です。自由形式のアンケート調査（非構造的インタビュー）は一見すばらしいやり方に見えますが、設問を幾つかに区切って方向性を示してやらないと（半構造的インタビュー）、バイアスの入った情緒的返答しか得られず、色々な考えがあることや漠然とした感情表現しか得られない結果となります。一般的には、仮説に関しての要因を3つ以上挙げ、それぞれの要因に関する具体的質問を設定します（構造的インタビュー）。そして、全質問数の3倍程度の回答者数を設定します。当然、その全工程において、年齢、性別、その他の状況によるバイアス（偏り）を出来るだけ取り除く注意が必要です。

論文の考察が、調査結果の「はい、いいえ」の%棒グラフの比較や、正規分布の確認の無い集計群をとりあえずt検定した有意差に基づくことが多いようです。%棒グラフを眺めて主観的に考察するのではなく、エクセル・ソフトに常備されたクロス集計を作成して考察したらステップアップした論文にできるのにと残念に思います。また、正規分布の確認の無い少数例での検定はやめて、クロス集計からポートフォリア分析図や親和図を作成したら回答者ニーズや改善提案の方向性がより明確になったのにと残念に思います。

- (3) JA新潟県厚生連医誌の全論文内容をインターネット上で読めます。本誌は、30年前の1984年に創刊され、2015年で24巻となりました。9年前の2006年より医学中央雑誌刊行会（医中誌）に収録され、名実ともに全国誌の仲間入りをしました。新潟県厚生連の広報文書の性格を前面に打ち出し、10年前の2005年よりインターネット上で全論文の全頁公開を実施しております。昨年の2014年に日本専門医機構が設立され、各学会誌は2015年より順次製本を取り止めホームページ公開へ移行すると予想されます。この点に関して、本誌のホームページ公開の先見性は自慢できるものであり、更に、閉鎖された会員のみが閲覧可能なホームページ公開でなくより開かれた論文公開となっております。今後も、本誌掲載文献がますます引用されていくことを期待しております。

以下に、(A) 厚生連医誌の検索方法と、(B) 新潟県厚生連医誌論文全掲一覧表を掲載しました：

A. 厚生連医誌の検索方法：

1. JA新潟県厚生連本部のホームページを開く。

または、旧病理センターのホームページ (<http://www.nkp-center.jp/>) を開く。

2. トップページサブリンク先「新潟県厚生連医誌」を選択して、厚生連医誌既刊全内容の目次一覧を開いて検索する（掲載内容は、Excel形式で、筆頭著者名、題名、西暦、巻、号、頁が表示されています）。
3. 読みたい論文が決まったら、リンクボタン「論文を読む」または、直接 <http://www.janiigata.sakura.ne.jp/JMNK/jmnk.htm> を開いて、希望の論文を確認する。

文献：

五十嵐俊彦. アンケート調査：やり方と考察. 厚生連医誌 2011；20：68－75.

B. 新潟県厚生連医誌論文全掲一覧表

(2014/12/23受付、文責、五十嵐俊彦)